

# 2023年度 第2回 北海道労済運動推進会議



たすけあいの輪をむすぶ

日時：2023年11月1日（水）16：00～17：00

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通 ホール7C

## こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会



# 議 事 次 第

## 開 会

永田副議長

## 挨 拶

北海道労済運動推進会議  
こくみん共済 coop 北海道推進本部

高倉議長  
藤盛本部長

## 報 告

I. こくみん共済 coop 北海道推進本部 2023 年度事業状況について 佐藤事務局長

## 議 題

I. 2023 年度 上期活動報告について 紺野事務局長  
II. 2023 年度 重点共済の推進状況について 紺野事務局長  
III. 2023 年度 今後の推進活動について 紺野事務局長  
IV. 2023 年度 北海道労済運動推進会議 役員体制について 紺野事務局長

## その他

## 閉 会

永田副議長

## <報 告>

### I. こくみん共済 coop 北海道推進本部 2023 年度事業状況について

#### 1. 目標に対する進捗状況について（2023 年 8 月末実績：3 カ月経過） 【別冊資料 P1-3】

2023 年 7 月に交運共済の実績が移管されています。移管実績を除いた 8 月末の累計純増実績は、件数で▲2,947 件、口数で▲354,791 口となり、前年と比較しさらに厳しい状況となっています。

職域においては、マイカー共済が順調であり、産別・単組の取り組み成果や貢献により運動の前進を確認することができます。

	2023 年度事業目標		2023 年 8 月末累計純増		目標件数との差異	
	目標件数	目標口数	純増件数	純増口数	件数	口数
職 域	▲ 12,117	▲ 794,307	291	72,399	12,408	866,706
居住域	▲ 13,185	▲2,252,054	6,805	688,384	19,990	2,940,438
合 計	▲ 25,302	▲3,046,361	7,096	760,783	32,398	3,807,144

（交運共済移管実績を除く実績）

	2023 年度事業目標		2023 年 8 月末累計純増		目標件数との差異	
	目標件数	目標口数	純増件数	純増口数	件数	口数
職 域	▲ 12,117	▲ 794,307	▲ 1,108	▲ 56,036	11,009	738,271
居住域	▲ 13,185	▲2,252,054	▲ 1,839	▲ 298,755	11,346	1,953,299
合 計	▲ 25,302	▲3,046,361	▲ 2,947	▲ 354,791	22,355	2,691,570

#### 2. 前年同期比について（2023 年 8 月時点：3 カ月経過）

前年同期比では、居住域のこくみん共済の純減が大きく影響し、前年同月期と比較し大きく減少しています。一方職域でも、離退職者の火災共済、団体生命共済の減少の影響が大きく、前年より悪化しており、厳しい状況となっています。

	昨年度（2022 年 8 月末）		当年度（2023 年 8 月末）		前年同期との差異	
	純増件数	純増口数	純増件数	純増口数	純増件数	純増口数
職 域	▲ 1,861	17,627	291	72,399	2,152	54,772
居住域	▲ 1,341	▲ 183,683	6,805	688,384	8,146	872,067
合 計	▲ 3,202	▲ 166,056	7,096	760,783	10,298	926,839

（交運共済移管実績を除く実績）

	昨年度（2022 年 8 月末）		当年度（2023 年 8 月末）		前年同期との差異	
	純増件数	純増口数	純増件数	純増口数	純増件数	純増口数
職 域	▲ 1,861	17,627	▲ 1,108	▲56,036	753	▲ 73,663
居住域	▲ 1,341	▲ 183,683	▲ 1,839	▲ 298,755	▲ 498	▲ 115,072
合 計	▲ 3,202	▲ 166,056	▲ 2,947	▲ 354,791	255	▲ 188,735

#### 3. こくみん共済 coop 指定整備工場ご利用のお願い

【別冊資料 P5】

## <議 題>

### I. 2023 年度 上期活動報告について

#### 1. 2023 年度上期活動報告について

2023 年度北海道労済運動推進会議は、労済運動の推進基軸母体として運動の前進をはかるべく、基本方針を踏まえ産別、単組、ブロック推進会議と連携のうえ取り組みを進めてきました。

重点 6 共済を設定し、こくみん共済 coop と共に無保障者をなくし組合員に最適な保障を提案提供していくことを基調とした取り組みを展開しました。

2023 年 9 月末における重点共済の進捗状況ですが、年間目標 8,435 件に対し、3,085 件（達成率 36.6%）となっており、年間目標達成ペースで推移し顕著に運動の前進が見て取れます。

約 3 カ年続いたコロナ禍も、昨年 9 月のみなし入院の取り扱い変更、今年 5 月の 5 類移行を経て、多くの組合員との接触機会を繋ぐ取り組みを取り戻すことができ、その結果、6～8 月におけるこくみん共済の推進強化期間（統括本部統一キャンペーン）では 7 回連続の目標達成となり、スタートダッシュをはかることができました。

また、こくみん共済 coop が取り組んできた社会課題（「7 歳の交通安全プロジェクト」・「横断旗の寄贈」）と連動したマイカー共済については、前年度比 100 件増加の目標設定ながら、目標件数 1,000 件に対し、2023 年 9 月末時点で 401 件（達成率 40.1%）となっています。

これは前年同期を 129 件も上回る実績であり、物価高騰の情勢のなか、組合員の可処分所得の向上に資するものとなりました。

さらに、保障設計運動における協力団体・組合員の保障の基盤となる団体生命共済についても、私鉄総連での全員一律加入の増口決定など、労済運動の裾野の拡がり、普及促進が実感できる成果が得られた上期となりました。

### <2023 年度基本方針>

- 1 労働者共済運動の根幹である職域推進において、北海道労済運動推進会議と支店推進会議、ブロック推進会議との一体的な労済運動を展開し共済運動の基盤強化を目指します。
- 2 「7歳の交通安全プロジェクト」「子どもの成長応援プロジェクト」等、社会課題解決（SDGs）の取り組みの周知活動を強化するとともに、「こくみん共済」「マイカー共済」の加入拡大をはかります。
- 3 近年の自然災害多発を受け、組合員を災害から守る取り組みとして、「無保障者をなくす取り組み」と「既加入者への保障点検活動」を継続するほか、防災士資格を持つこくみん共済 coop 職員による防災減災セミナーの開催等、有意な情報提供や啓発活動を強化します。  
また、2024年4月予定住まいる共済制度改定を契機とし、制度改定内容の理解から防災・減災に繋げる取り組みを行います。
- 4 こくみん共済誕生40周年を機とした新たな組合員サービス「公式アプリ」「こくみんLifeサポート」について、組合員の利便性向上、組合員と労組とこくみん共済 coop を繋げるサービスと位置づけ、積極導入を促進します。
- 5 保障設計運動の観点から協力団体の保障の基盤となる団体生命共済の一律加入の引き上げや特約の付帯など組織内保障の拡充に加え、「こくみんLifeサポート」の利用による福利厚生制度の拡充の観点から取り組み要請を強化します。
- 6 自動車関連補償に関しては、組合員の可処分所得向上の一助としてのマイカー共済の取り組み（適用割引率の丁寧な周知と横断旗寄贈と連動した見積依頼書の収集強化）とともに、自賠償共済の加入拡大をはかります。
- 7 産別、単組と連携し、将来にわたる労済運動の拡がりの観点から「保障セミナーの開催等」新入組合員対策を講じるとともに、これまでの共済利用の感謝と永続的な必要保障確保の観点から退職者対策を強化します。
- 8 たすけあいの輪をむすぶ、広げるため、「新規団体の紹介、新規組合員の紹介」活動を産別 単組、ブロック推進会議、ブロック労福協との連携を強化し展開します。

## 2. ブロック推進会議等の開催状況

コロナ禍も一段落し、全てのブロック推進会議で4年ぶりとなる集合形式による総会が行われました。北海道労済運動推進会議としても、議長を中心に総会に参加し、日ごろの労済運動への協力の御礼と向こう一年間の取り組みへの要請を行ってきました。

ブロック	総会等
石 狩	7/3 総会（集合）※12/19 幹事会を予定
後 志	7/8 総会（集合）
西 胆 振	7/26 総会（集合）
東 胆 振	7/20 総会（集合）
日 高	7/22 総会（集合）
空 知	7/27 総会（集合）
釧 路	7/24 総会（集合）
根 室	7/26 総会（集合）※11/25 幹事会・推進会議を予定
十 勝	5/27 総会（集合）・9/26 幹事会（書面） ※11/11 推進会議を予定
網 走	7/8 総会（集合）※11/11 推進会議を予定
上 川 中	7/25 総会（集合）
上 川 南	7/18 総会（集合）※11/9 推進会議を予定
上 川 北	7/26 総会（集合）
留 萌	7/12 総会（集合）
宗 谷	7/22 総会（集合）・10/21 推進会議
北 渡 島	7/14（集合）
南 渡 島	7/24（集合）
檜 山	6/30（集合）※12/8 幹事会を予定

## 3. 勤労者福祉向上キャンペーンの取り組み

連合北海道（労働福祉対策特別委員会）・北海道労福協が主催する「勤労者福祉向上キャンペーン」と連携し、2023年9月1日～14日、10月20日に、23産別・団体に対して労働福祉事業団体の利用拡大、推進強化の要請活動を行いました。

連合北海道、労働金庫、こくみん共済 coop、住宅生協、道労福協による合同オルグを実施し、こくみん共済 coop については、災害時無保障者をなくす取り組みや公式アプリの導入促進等の推進課題について各産別組織ならではの要請を行いました。

これを受け、電力総連、JP 労組、紙パ連合について、早速執行委員会等での要請が設定されたほか、北教組では自賠責共済の機関誌での教宣機会を得ることができました。その他情報労連についても、こくみん共済 coop の事業体広告を機関誌に掲載いただけることとなり、各産別組織での取り組みが進んでいます。

また、10月21日宗谷ブロック、10月25日留萌ブロックにて会議形式にて、地域の単組・支部に対し、同様の要請行動を行いました。

#### 4. 生活保障設計運動定着の取り組み

##### (1) 2022年6月「団体生命共済」制度改定を踏まえた取り組み

昨年、掛金改定、特約の新設等、大幅な制度改定を行った団体生命共済について、協力団体による組合員のための保障の基盤強化の結果、保障設計運動の更なる進展がはかられました。

2024年1月発効での私鉄総連北海道地方労組（本部と20支部）での全員一律加入30口から40口への増口、2023年9月発効での（全自交）三和交通労組での新手術特約20口の新規付帯、2024年1月発効での（交通労連）はまなす交通労組での新手術特約30口増口+新がん特約2口増口+交通災害一律20口新規導入と、計23団体が組織内保障の拡充を実現しました。

<b>2023年度 団体生命共済・交通災害共済 新規・増口</b>
23団体 / 102,962口

#### 5. 領域拡大への取り組み

運動基盤拡大の観点から「新規登録団体」の拡大に取り組み、産別からの紹介により、ともに労済運動を担う協力団体・組合員の拡大がはかることができました。

<b>2023年度 新規登録団体</b>
1団体
(UAゼンセン) UAゼンセン ダイレックスユニオン マイカー共済新規利用（現実績4件）

#### 6. 2023年5月リリースこくみんLifeサポート・公式アプリの利用促進等の取り組み

公式アプリの導入を受け、各ブロック推進会議や各産別労組の執行委員会等における積極導入をはかりました。

<b>2023年度 職域 公式アプリ導入者数</b>
1,295名（2023年10月18日現在）

拠点		課題					進捗状況
推進本部	拠点名	職域	課題	開始	期限	a累計	
		解除	解除				
01:北海道推進本部	01:札幌支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	357	
01:北海道推進本部	01:小樽支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	24	
01:北海道推進本部	01:苫小牧支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	74	
01:北海道推進本部	01:室蘭支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	28	
01:北海道推進本部	01:岩見沢支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	0	
01:北海道推進本部	01:釧路支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	112	
01:北海道推進本部	01:北見支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	79	
01:北海道推進本部	01:帯広支所	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	45	
01:北海道推進本部	01:道北支店	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	478	
01:北海道推進本部	01:道南支店	職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	90	
01:北海道推進本部		職域	公式アプリ登録件数（アプリ導入+マイページ紐づけ）2023年度	6/1	5/31	1,295	

## 7. 社会課題解決の取り組み

こくみん共済 coop の以下社会的課題の取り組みについて、北海道労済運動推進会議としても積極的に関わり賛同に基づく取り組みを展開しています。

### (1) (通年) 子どもの成長応援プロジェクト

一昨年度より、子育て中のパパ・ママへのサポートや子どもの成長を支えるための様々な活動を行っており、子どもの体力低下への課題への対応として、こくみん共済こども保障タイプ加入1件につき、全国の児童館などへなわとび・長縄を1本寄贈しています。

#### 2023年度 子どもの成長応援プロジェクト

(職域) なわとび寄贈予定24本 (2023年8月末日現在)

### (2) (通年) 7歳の交通安全プロジェクト

7歳の子どものが、他の年齢と比較し、突出して交通事故に遭いやすいというデータがあり、こくみん共済 coop では、交通事故を減らすための金沢大学との共同研究に加え、特設サイトでの発信など、子どもたちの安全を守る取り組みを行っています。

マイカー共済の見積もり1件につき、全国の児童館などへ横断旗を1本寄贈しています。

#### 2023年度 7歳の交通安全プロジェクト

(職域) 横断旗寄贈予定437本 (2023年10月20日現在)



## Ⅱ. 2023年度 重点共済の推進状況について

### 1. 生命系共済（こくみん共済・長期共済）の推進について

(1) 年間新規加入目標・達成率（9月末現在／目標達成基準 33.3%）

	目標	新規加入実績	目標達成率
こくみん共済	1,150	473	41.1%
長期共済	800	440	55.0%
生命系共済 計	1,950	816	41.9%

※産別、ブロックごとの達成状況については【別冊資料 P7-8】参照

コロナ禍の接触制限も緩和され、産別・労組主導で多くの接点機会を設けていただき、主にセット共済の更新時や退職時における適切な保障提案を実践してきました。

生命系共済については、7回連続での目標達成となった2023年6～8月の推進強化期間によるスタートダッシュにより、年間目標達成ペースで推移しています。新入組合員対策や他共済との複合推進をとおして、多くの実績に結び付けることができました。

(2) 産別、ブロック推進会議実績状況について

<目標達成率上位5ブロック（10/18現在）>

	目標（生命系共済計）	新規加入実績	目標達成率
十勝ブロック	116	76	65.5%
南渡島ブロック	164	95	57.7%
釧路ブロック	157	90	57.0%
東胆振ブロック	90	51	56.3%
上川中ブロック	180	101	55.9%

産別として、日産労連、電力総連、海員組合、JP労組が既に年間目標を達成しました。

十勝ブロックで目標達成率が65.5%と進捗していますが、帯広地区連合 20.3件、（全労金）北海道労働金庫労組 帯広支部 16.5件の実績が影響しています。

その他、上川中ブロックについては、私鉄総連 旭川電気軌道支部 21件、私鉄総連 道北バス支部 16.2件で多くの実績が上がっています。

## 2. 自動車補償関連共済（マイカー共済）の推進について

(1) 年間新規加入目標・達成率（9月末現在／目標達成基準 33.3%）

	目標	新規加入実績	目標達成率
マイカー共済	1,000	401	40.1%

※産別、ブロックごとの達成状況については【別冊資料 P7-8】参照

2021年11月制度改定を踏まえ、「7歳の交通安全プロジェクト」への賛同団体を募り、「マイカー共済の見積り1件＝横断旗の寄贈1本」の周知をはかるなど、社会課題解決への参加を広く呼びかけ、物価高騰情勢で組合員の可処分所得向上に応えられる共済として取り組みを進めています。

9月末時点において、年間目標達成ペースで推移している他、前年同期を129件も上回る新規実績となるなど、運動の前進が特に顕著な共済となっています。

(2) 産別、ブロック推進会議実績状況について

<目標達成率上位5ブロック（10/18現在）>

	目標	加入実績	目標達成率
上川北ブロック	5	7	140.0%
留萌ブロック	10	9	90.0%
上川中ブロック	100	85	85.0%
宗谷ブロック	10	6	60.0%
北渡島ブロック	5	3	60.0%

産別として自治労が、ブロック推進会議として上川北ブロックが、既に年間目標を達成しました。

上川中ブロックで、85件もの実績があがっていますが、（運輸労連）ヤマト運輸労働組合 33件、（運輸労連）全日通 旭川支部 12件、（運輸労連）旭川通運労働組合 8件での社会課題解決の賛同に基づく取り組みが貢献しています。

### 3. 自動車補償関連共済（自賠責共済）の推進について

(1) 年間新規加入目標・達成率（9月末現在／目標達成基準 33.3%）

	目標	新規加入実績	目標達成率
自賠責共済（新規）	1,900	630	33.2%
自賠責共済（継続）	1,535	495	32.2%
自賠責共済 計	3,435	1,125	32.8%

※産別、ブロックごとの達成状況については【別冊資料 P7-8】参照

この間の産別・単組、支店推進会議、ブロック推進会議が一体となり、協力団体を通じて、執行部を始めとした組合員の車検満了データ集約や、既契約者に対する車検満了前からの早期かつ複数回の確実な要請活動を展開し、契約締結までの着実な取り組みは運動として定着しています。

また、組合員サービスとして、協力団体へのこくみん共済 coop 指定整備工場および共済代理店の紹介活動も強化し、車検入庫誘導による自賠責の募集拡大の取り組みも進めました。

一方、9月末時点において、年間目標ペースをわずかに下回っています。以下、継続対応状況のとおり継続率に拠点差があり、更なる継続対策が必要となります。

(2) 産別、ブロック推進会議実績状況について

<目標達成率上位 5 ブロック（10/18 現在）>

	目標（新規継続計）	加入実績（新規継続計）	目標達成率
宗谷ブロック	41	26	63.4%
釧路ブロック	256	126	49.2%
網走ブロック	289	130	45.0%
上川北ブロック	103	41	39.8%
十勝ブロック	310	122	39.4%

産別として、全水道が既に年間目標を達成しました。

宗谷ブロックで目標達成率が 63.4%と進捗していますが、自治労各単組の実績が影響しており、継続対策の他、新規発掘による実績化が確認できます。特に、自治労 豊富町職員労組 6 件、自治労 猿払村職員労働組合 4 件、自治労 稚内市職員労働組合 3 件、自治労 枝幸町役場職員組合 3 件の実績が顕著です。

その他、全道庁退職者会で 25 件（新規 14 件・継続 11 件）もの実績が上がっています。これは、今年度から「じちろうマイカー共済」の加入者で車検満了情報を管理していない契約についても、初度登録年月から車検月を推定し、自治労北海道本部執行委員長名での要請文書を同封し、自賠責共済の加入要請を発送しているためです（推定車検満了データの取り組み）。

【2023年度自賠責共済 継続対応状況 2023年6～9月累計】

拠点名	ブロック	対応状況					未継続事由						案内 不能
		継続データ	継続	指定工入庫	未継続	継続率	未対応	他保加入	車両入替	売却・廃車	道外異動	その他	
札幌支所	石狩	161	111	0	50	69.4	0	18	19	9	0	3	1
小樽支所	後志	26	13	0	13	52.0	0	1	2	2	2	4	1
室蘭支所	西胆振	31	21	0	10	67.7	0	2	4	4	0	0	0
苫小牧支所	東胆振	25	17	0	8	68.0	0	4	3	0	1	0	0
	日高	12	8	0	4	66.7	0	0	2	2	0	0	0
	苫小牧支所 計	37	25	0	12	67.6	0	4	5	2	1	0	0
岩見沢支所	空知	32	12	0	20	37.5	0	6	11	3	0	0	0
道央支店	合計	287	182	0	105	63.9	0	31	41	20	3	7	2
釧路支所	釧路	54	36	1	17	68.5	0	3	5	5	1	3	0
	根室	33	17	0	16	53.1	0	0	8	4	0	3	1
	釧路支所 計	87	53	1	33	62.8	0	3	13	9	1	6	1
帯広支所	十勝	74	48	3	23	68.9	0	2	7	0	0	3	0
北見支所	網走	81	52	1	28	65.4	0	1	11	16	0	0	0
道東支店	合計	242	153	5	84	65.6	0	6	31	25	1	9	1
道北支店	上川中	49	27	1	21	59.6	0	8	8	1	1	1	2
	上川南	17	10	0	7	58.8	0	0	6	1	0	0	0
	上川北	43	31	0	12	73.8	0	3	6	1	0	1	1
	留萌	11	9	0	2	81.8	0	0	2	0	0	0	0
	宗谷	15	11	0	4	73.3	0	0	2	1	1	0	0
道北支店	合計	135	88	1	46	67.4	0	11	24	4	2	2	3
道南支店	南渡島	69	42	1	26	63.2	0	5	3	7	1	9	1
	北渡島	14	7	0	7	50.0	0	0	3	3	0	1	0
	檜山	38	27	0	11	71.1	0	0	9	2	0	0	0
道南支店	合計	121	76	1	44	64.2	0	5	15	12	1	10	1
北海道推進本部	合計	785	499	7	279	65.0	0	53	111	61	7	28	7

#### 4. 住まいる共済（火災共済・自然災害共済）の推進について

(1) 年間新規加入目標・達成率（9月末現在／目標達成基準 33.3%）

	目標	新規加入実績	目標達成率
火災共済	1,250	325	26.0%
自然災害共済	800	238	29.8%

※産別、ブロックごとの達成状況については【別冊資料 P7-8】参照

災害の脅威から組合員の生活を守るため、広く多くの組合員を対象とし周知活動やアンケート収集など最適保障提案を行ってきましたが、年間目標達成ペースは若干下回っています。

(2) 産別、ブロック推進会議実績状況について

<（火災共済）目標達成率上位 5 ブロック（10/18 現在）>

	目標	加入実績	目標達成率
留萌ブロック	35	29	82.9%
上川北ブロック	35	23	65.7%
根室ブロック	25	15	60.0%
釧路ブロック	70	35	50.0%
石狩ブロック	350	164	46.9%

<（自然災害共済）目標達成率上位 5 ブロック（10/18 現在）>

	目標	加入実績	目標達成率
宗谷ブロック	15	15	100.0%
十勝ブロック	55	42	76.4%
釧路ブロック	45	34	75.6%
留萌ブロック	25	16	64.0%
石狩ブロック	210	108	51.4%

産別として、UAゼンセンと JP 労組が火災共済、自然災害共済、それぞれで既に年間目標を達成しています。電機連合についても、自然災害共済は目標達成済、火災共済も達成目前の状況にあります。

JP 労組については、支部毎に執行委員や共済担当者を対象とした学習会を開催し、家財保障、自然災害保障の必要性の訴えを継続しており、その成果によるものと考えています。

電機連合については、今年 1 月、パナソニックスイッチングテクノロジーズ労組帯広支部が約 600 名の組織一律加入を決定したことを受けて、火災共済、自然災害共済とも 22 件の新入組合員による実績化がありました、

ブロック推進会議としては、宗谷ブロックが、既に年間目標を達成しました。

その他、顕著な実績として、(JR 総連) JR 北海道労組 函館地本（火災共済 15 件、自然災害共済 16 件-更新取り組み）、(JR 総連) JR 北海道労組 釧路地本（火災共済 13 件、自然災害共済 13 件-更新取り組み）、自治労 留萌市職員労働組合連合会（火災共済 12 件、自然災害 8 件-更新取り組み）がありました。

### (3) 防災/減災を踏まえ、被災した際に生活再建に資するための「無保障者をなくす」取り組みの定着化

2023年8月26日(土)「みんなのウェルネスフェスタ in おたる」を北海道労福協後志ブロック、北海道生協連をはじめとする関係団体とともに開催し、以下のコンテンツをとおして、防災・減災の取り組みを伝える活動を行いました。

小樽市を中心に協力団体へ告知した結果、約320組が来場され大変好評を博しました。

#### ① 防災グッズコーナーの設置

非常食や防災備品をブース設置のうえ来場者へ案内を行い、災害時における非常食や防災備品の必要性を伝えました。

#### ② 防災体験 VR ゴーグル体験コーナーの設置

地震と火災の避難訓練体験が可能なVRゴーグルコンテンツを準備し、ブース来場者に実際に体験をいただきました。災害の甚大さや避難時におけるポイントについて、体験を通して理解を深めていただき、防災・減災に対する意識啓発をはかりました。



### Ⅲ. 2023年度 今後の推進活動について

#### 1. 重点共済の推進対策（支店推進会議・ブロック推進会議との連携強化）

こくみん共済 coop の設定する各共済の推進強化期間・キャンペーンを推進の山場とし、こくみん共済、長期共済、火災共済、自然災害共済等、全ての保障分野の総合提案により、重点共済各種共済の目標達成をはかります。

生活不安、健康不安を抱える組合員に寄り添いながら、保障ニーズを把握し、お役立ちに繋がる取り組みを各産別・単組に要請します。

##### （1）11～12月北海道推進本部 独自強化月間の取り組み

こくみん共済 coop では、各産別、各ブロック推進会議での上期における取り組みを踏まえ、11～12月にかけて、北海道推進本部での独自強化月間を設定します。

従来型の強化月間と異なり、各支店支所が年間目標達成のため、設定課題（共済）や設定目標値について各自で設定し、担当産別・労組のセット共済の更新時スケジュールや進捗遅れ課題（共済）の挽回策を想定した施策を講じる等、実態に即した主体的な取り組みを展開します。

この間、各支店推進会議等で本取り組みについて確認を進めているところですが、北海道労済運動推進会議としてもこれに協力するべく、各産別組織・各ブロック推進会議によるこくみん共済 coop 各支店支所と連携した取り組みを展開します。

拠点名	カテゴリ1	カテゴリ2	年間目標①	月間終了時12月末日目標②	10/18実績③	年間目標残	月間終了時12月末日目標残	現年間目標達成率(生命系は政策目標)	月間目標達成時、年間目標達成率
						④ (①-③)	⑤ (②-③)		
札幌支所A	共済推進	生命系共済	288	223	108	180	115	37.4%	77.4%
札幌支所A	共済推進	マイカー共済	150	114	65	85	49	43.3%	76.0%
札幌支所A	課題対応	アプリ登録	1,305	992		1,305	992	0.0%	76.0%
札幌支所B	共済推進	生命系共済	288	206	121	167	85	42.1%	71.5%
札幌支所B	共済推進	火災・自然災害	249	196	81	168	115	32.5%	78.7%
札幌支所B	課題対応	アプリ登録	1,305	914		1,305	914	0.0%	70.0%
小樽支所	共済推進	火災共済	65	40	19	46	21	29.2%	61.5%
小樽支所	課題対応	アプリ登録	320	160	24	296	136	7.5%	50.0%
室蘭支所	共済推進	マイカー共済	90	54	32	58	22	35.6%	60.0%
室蘭支所	共済推進	生命系共済	168	68	32	136	36	18.8%	40.5%
室蘭支所	課題対応	アプリ登録	930	160	28	902	132	3.0%	17.2%
苫小牧支所	共済推進	こくみん共済	108	65	44	64	21	40.4%	60.2%
苫小牧支所	共済推進	火災共済	65	40	19	46	21	29.2%	61.5%
苫小牧支所	課題対応	アプリ登録	410	115	74	336	41	18.0%	28.0%
苫小牧支所	共済推進	マイカー(見積)		50		0	50		
岩見沢支所	共済推進	生命系共済	84	54	29	55	25	34.5%	64.3%
岩見沢支所	課題対応	アプリ登録	220	110	0	220	110	0.0%	50.0%
道央支店 計									
釧路支所	共済推進	火災共済	95	76	50	45	26	52.6%	80.0%
釧路支所	共済推進	自然災害共済	65	52	41	24	11	63.1%	80.0%
釧路支所	課題対応	アプリ登録	670	390	112	558	278	16.7%	58.2%
帯広支所	共済推進	生命系共済	168	146	76	92	70	65.5%	86.9%
帯広支所	共済推進	火災共済	93	82	41	52	41	44.1%	88.2%
帯広支所	共済推進	自然災害共済	55	49	42	13	7	76.4%	89.1%
帯広支所	課題対応	アプリ登録	590	242	45	545	197	7.6%	41.0%
北見支所	共済推進	生命系共済	168	96	51	117	45	30.4%	57.1%
北見支所	課題対応	アプリ登録	470	226	79	391	147	16.8%	48.1%
道東支店 計									
道北支店	共済推進	火災共済	250	187	95	155	92	38.0%	74.8%
道北支店	共済推進	自然災害共済	130	106	57	73	49	43.8%	81.5%
道南支店	共済推進	生命系共済	210	147	103	107	44	40.8%	70.0%
道南支店	共済推進	マイカー(見積)		100		0	100		

## (2) 生命系共済（こくみん共済・長期共済）推進

下期は、既契約者を起点とし複合的な保障や世帯保障を意識した総合的な提案を進め、運動の前進を目指します。

従来、保障相談窓口を設置していない協力団体についても、積極的な取り組み要請をおこない、共済利用者の裾野拡大をはかります。

今年こくみん共済が誕生40周年を迎え、2024年2月23日にエリアイベントが予定されており、イベント周知を絡めた推進活動を展開します。

- ① こどもの成長応援プロジェクトの協賛要請をとおした「こども保障タイプ」の推進
- ② ライフイベント（誕生/入学入園/新社会人/子どもの独立等）を意識した推進。退職後の保障を見据えた終身医療保障の推進強化
- ③ 持病のある方向けの一生涯の医療保障「引受緩和型終身医療共済」の一層のPR
- ④ 先進医療特約（実績 0.1 件カウント）、個人賠償責任特約（実績 0.2 件カウント）等、既契約者への特約付帯推進
- ⑤ 組合員の紹介者活動等「たすけあいの輪を拡げる」取り組み
- ⑥ 家族分未加入の組合員へ「世帯トータル保障設計」の推進
- ⑦ 2024年2月23日予定 チカホ「防災・なわとれ（なわとびトレーニング）」イベントの周知

※以下、チラシ表現については未定稿のものであり、イベント内容詳細についても検討中のものになります。





### (3) 自動車関連補償共済（マイカー共済・自賠責共済）推進

2024年1～3月に「車の補償」取り組み強化期間が予定されていますが、成約にあたっては見積り収集が前提となることから、強化期間に限らず通年での見積り収集強化をはかります。

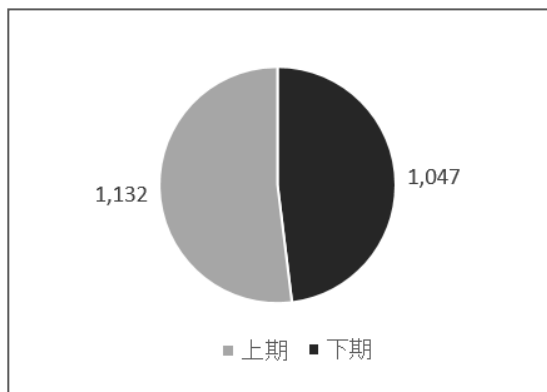
マイカー共済については、制度改定3年目として多くのマイカー共済取り扱い団体に12.5%を超える割引率が適用されており、今年度の適用割引率の丁寧な周知とともに、取り組み団体の拡大、更なる多くの組合員への利用拡大をはかります。

物価高騰により一層高まる組合員の可処分所得の向上の期待に応えられる掛金優位性をもとに、取り組み強化期間に限定せず、産別・単組内で広く周知をはかります。

また、マイカー共済とのセット取り組みとして自賠責予約票収集と継続対策を強化します。2023年度の下期の自賠責共済の満期件数（48%）は、上期（52%）を下回っており、年間目標の達成のためには、上期以上の新規実績の積み上げと継続率70%目標の達成が必須となります。

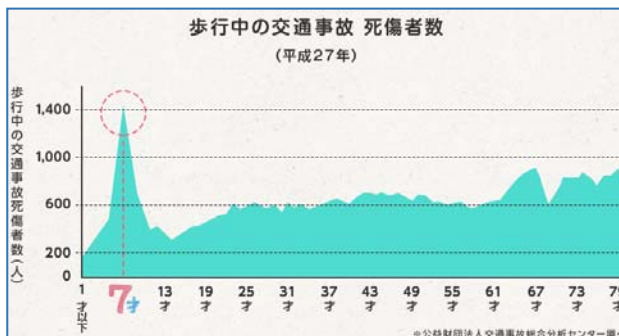
- ① 2021年11月制度改定内容3年目の対応としての適用割引率の周知徹底
- ② 7歳の交通安全プロジェクトの協賛要請と見積もり収集活動
- ③ スマホスキームを活用した車検証・保険証券アップロードによる見積もり促進
- ④ 自賠責共済における執行部全員加入を目指す取り組みの継続
- ⑤ 「推定車検満了データ」を活用した自賠責共済新規対策の実施
- ⑥ 自賠責共済年間満期者リストの共有による漏れのない継続対策～目標継続率70%～
- ⑦ 指定整備工場チラシの積極配布のほか、近接する協力団体と指定整備工場のマッチング等、こくみん共済coop代理店、指定整備工場の利用促進に向けた取り組み

#### (参考) 自賠責共済 上期・下期別 満期件数



#### (参考) 7歳の交通安全プロジェクト

7歳の子どものが、他の年齢と比較し突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。こくみん共済coopでは、交通事故を減らすための金沢大学との共同研究に加え、特設サイトでの発信など、子どもたちの安全を守る取り組みを行っているほか、マイカー共済の見積もり1件につき、全国の児童館などへ横断旗を寄贈する取り組みを行っています。



#### (4) 住まいる共済（火災共済・自然災害共済）推進

労働者福祉運動の原点共済である住まいる共済の普及促進をはかります。

2024年4月に予定する商品改定を踏まえ、掛金改定や保障内容等、丁寧な説明を経て、無保障者を無くす意義や組織としての助け合いの仕組み導入の必要性周知に努めるほか、防災減災の担い手づくりの取り組みとして、防災士資格を持つ職員による防災減災セミナーの開催等啓発活動をとおり、労済運動を拡げていきます。

- ① 制度改定周知・説明会の実施
- ② 住宅保障セミナーの開催。セット共済更新時の職場受付、保障相談。中途募集の取り組み
- ③ 労金質権火災加入者への適正保障確保のための加入促進
- ④ アンケート冊子・ハザードマップ・地盤診断サービスを活用した団体提案からの個別提案
- ⑤ 若年層、主に単身居住者でマンション、アパート、官舎居住等を中心とした家財加入促進
- ⑥ 関東大震災から100年。南西沖地震から30年。十勝沖地震から20年。今後懸念される巨大地震に備える、自然災害共済の加入促進
- ⑦ こくみん共済 coop 防災士による有用情報の積極提供や各種施策の展開

※こくみん共済 coop では防災減災活動の普及実践のため、職員の防災士資格の取得活動を進めており、2023年10月20日現在の有資格者数51名になります。

(参考) ブロック別自然災害共済付帯率(職域契約の自然災害共済契約件数/火災共済契約件数)

ブロック	自然災害共済/火災共済(2022年3月末現在→2023年4月末現在)
石 狩	48%→50% ↑
後 志	36%→37% ↑
西 胆 振	41%→42% ↑
東 胆 振	55%→56% ↑
日 高	53%→54% ↑
空 知	58%→60% ↑
釧 路	65%→67% ↑
根 室	75%→76% ↑
十 勝	56%→66% ↑
網 走	43%→43% ー
上 川 中	36%→37% ↑
上 川 南	45%→44% ↓
上 川 北	36%→37% ↑
留 萌	58%→59% ↑
宗 谷	43%→45% ↑
北 渡 島	60%→65% ↑
南 渡 島	61%→62% ↑
檜 山	67%→66% ↓
北 海 道	43%→45% ↑ (労金質権火災を除く)

各県別(職域)付帯率=青森 42.7%・岩手 38.1%・宮城 45.0%・秋田 44.6%・山形 47.4%・福島 49.9%・新潟 61.7%

**こくみん共済 coop 公式ホームページより～お住まいの地盤診断サービス～**

もしものリスクに適切に備えるために。

地震・液状化・浸水の可能性など、お住まいの地域の災害リスクを今すぐチェック！

住所を入力するだけで、お住まいの地盤サポートマップが無料で作成・ダウンロードできます。



**こくみん共済 coop 公式アプリより～お住まいの地盤診断サービス～**



## 2. 生活保障設計運動等の取り組みについて

### (1) 2022年6月「団体生命共済」制度改定を踏まえた取り組み

今後も保障セミナー、学習会の開催による各種情報発信について進め、協力団体に対して組合員の福利向上の観点から団体生命共済全員一律加入や特約付帯の取り組み要請を強化します。

団体生命共済については、協力団体における保障の基盤となる制度です。「全員一律加入」については、「たすけあい」の原点である「みんなで支えあう」ことにより、病気療養中の組合員を含めて加入することが（救うことが）出来る制度です。全員で加入することで、安定的な掛金の設定、漏れのない保障の実現が可能となります。

2022年6月に掛金改定、特約の新設等、大幅な制度改定を行った団体生命共済について、引き続き制度内容の周知とともにこれを機とした取り組み要請を強化します。

また、2023年5月にサービスを開始した「こくみんLifeサポート」については、労組における福利厚生制度の充実にも位置付けられるサービス提供であることから、それらの付加価値の提供を踏まえた団体生命共済一律加入の導入提案活動も行っています。

- ① 新規加入・一律加入・加入口数引き上げ提案活動の継続
- ② 病気入院特約、新手術特約未付帯団体への提案活動の継続
- ③ 新がん等重度疾病診断一時金特約・休業保障特約の提案活動の継続
- ④ 適正保障確保のための、保障相談窓口による任意加入、増口提案、個人賠償責任共済の推進

## 3. 離・退職者に対する取り組み・新入組合員に対する取り組み

この間の実績減少の大きな要因に離退職による解約・失効等が挙げられ、重点共済の目標達成の取り組みと同様に、生涯に渡っての安心を提供していく観点から離退職者に対する確実な個人契約への保障提案についても、重点課題として位置付け着実な取り組みを継続します。

また、将来に渡る労済運動を支える新入組合員へ対し、労組と連携のうえ、労済運動、保障の必要性への理解につとめる取り組みを展開します。

- (1) 通年的な退職後保障提案の100%実施のための対象者の連携把握
- (2) 退職情報の事前集約による対象者の確認、退職セミナーの開催、離退職予定者の方々への個別面談によるきめ細かい説明機会の設定
- (3) 住まいる共済を重点とした未継続（過去解約含む）データを活用した再アプローチ活動
- (4) 新入組合員対象保障セミナーの開催

## 4. 領域拡大の取り組み

労済運動の維持・拡大に向けては未取り組み団体への取り組みが重要な課題であることから、引き続き産別単組、ブロック推進会議、ブロック労福協と連携し、未利用（新規）団体の新規利用、共済利用の少ない団体の利用拡大に向けた取り組みを要請していきます。

特にマイカー共済の割引率が拡大した産別の加盟組織への新規利用促進をはかります。

## 5. 連合スクラム共済の取り組み

連合北海道、連合各地協・地区連合、ブロック推進会議など労済運動に関わる総体として引き続き「連合スクラム共済」の加入拡大を目指し、各産別への要請活動の継続とともに、連合各地協・地区連合との連携によるエリア内の産別・単組への取り組み要請活動を展開します。

## 6. 2023年5月リリースこくみんLifeサポート・公式アプリの利用促進等の取り組み

こくみん共済発売開始から40周年の節目にこれまでの感謝を込めて新たなサービスがスタートしています。従来の組合員一人一人に寄り添った最適な保障設計をサポートする「保障設計サポート」に加え、組合員特典価格等でもしもの事前・事後の生活全般をサポートする「生活保障サポート」を展開し、組合員のくらしを丸ごとサポートします。

「こくみんLifeサポート」の全メニューを利用いただくためには、公式アプリの導入が必要であり、各ブロック労福協等の会議・学習会において、積極導入を促進し、アプリ導入にあたっては、予め招待コード・アクセスキーが付与される支援チラシも積極的に活用します。

また引き続き、持続可能な社会実現の取り組みに向けた費用相当分を負担する「デジタル促進特別活動費」の活用周知をはかります（事前に協定書を締結し、アプリを新規ダウンロードのうえ、アプリからマイページへ初めてログインした件数1件につき、250円をお支払いするもの）。

加えて、人気メニューランキングチラシも活用し、アプリ導入促進をはかります。



## 7. 2023年度会議日程

予定されている統一キャンペーンや、新入組合員対策を踏まえ、以下のとおり、次回以降の会議設定を予定しています。

		2023年度												2024年度	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
統括本部	【2023年度全国重点課題】 アプリ導入・利用促進	2023年度アプリ登録目標達成にむけ、年度を通じて全チャネルにて導入・利用促進の取り組みを展開													
	人の保障	統一CP(こくみん・長期)													
	車の補償								統一CP(マイカー・自賠)						
	家の保障												統一CP(火災・自然)		

- (1) 2023年6月15日 第1回北海道労済運動推進会議
- (2) 2023年11月1日 第2回北海道労済運動推進会議
- (3) 2024年1月末～2月初旬 第3回北海道労済運動推進会議

< 予定議題 >

- ・ 年度末対策
- ・ 新入組合員対策
- ・ (住まいる共済 2024年4月制度改定) 統一キャンペーン取り組み要請

#### IV. 2023年度 北海道労済運動推進会議 役員体制について

このたび届出された一部幹事の変更を反映した幹事体制は以下のとおりです（敬省略）。

役 職	選出団体	氏 名	役職名
議長	北海道労福協	高倉 司	副理事長兼事業推進本部長
副議長	連合北海道	永田 重人	組織対策局長
事務局長	北海道労福協	紺野 則仁	副理事長兼事務局長
事務局次長	北海道労福協	斉木 孝也	事務局次長
事務局次長	北海道労福協	高尾 淳	事務局次長
事務局次長	こくみん共済 coop 北海道推進本部	大河原 敬一	事業推進部 部長
幹事（産別代表）	自治労北海道本部	池田 裕二	企画総務部長
幹事（産別代表）	全開発労組	齋藤 航太郎	書記長
幹事（産別代表）	私鉄総連北海道地方労組	加藤 裕幸	執行委員長
幹事（産別代表）	紙パ連合北海道地方本部	藤山 如昭	執行委員長
幹事（支店代表）	道央支店	日西 和広	連合胆振地協 会長
幹事（支店代表）	道東支店	武田 研二	連合網走地協 事務局長
幹事（支店代表）	道北支店	下山 貢司	私鉄総連道北バス支部 委員長
幹事（支店代表）	道南支店	佐々木 秀一	連合渡島地協 副会長
幹事（退職者連合）	北海道退職者連合	真壁 英治	事務局長

退任：幹事 瀧口 和成（自治労北海道本部）

新任：幹事 池田 裕二（自治労北海道本部）



